

腰HALチーム 2022年度活動報告

医療法人 誠和会 倉敷記念病院 リハビリテーション部
腰HALチーム

石原佳子、水田泰博、川田稔、森本隆也
坂本さやか、守屋寛子、藤原春華、横田暁雄

はじめに

当法人ではHAL®腰タイプ自立支援用(以下,腰HAL)を4台導入して運用中である.

昨年度,運用方法を再検討し各部署共通の評価スケールでデータ蓄積をしていく方針とした.

運用方法変更後の各施設の運用実績,目標別の治療効果実績を以下にまとめて報告する.

対象と方法

- データ収集期間: 2022年1月～2022年12月
- 対象: 当法人リハビリテーション部の対象症例すべて
- 選定方法: リハビリテーション科医または担当療法士が腰HAL適応と判断した症例
- 評価方法: 目標別に評価項目を設定, 初回と12回終了時に評価
 - 座位安定目標: Hoffer座位能力分類
 - 起立安定目標: フレイルCS-10¹⁾, FRT²⁾
 - 歩行安定目標: フレイルCS-10, FRT, TUG³⁾

¹⁾ 虚弱性高齢者用10秒椅子立ち上がりテスト

²⁾ Functional Reach Test

³⁾ Timed Up & Go Test

使用実績(施設別)

施設	実施人数	平均年齢	平均実施期間	平均実施回数
病院(入院)	29人	78.5歳	13.6日	5.1回
病院(外来)	10人	72.7歳	41.0日	7.6回
福寿荘	5人	91.8歳	22.5日	3.4回
通所リハ	3人	86.7歳	101.0日	12.0回
合計/平均	47人	79.2歳	35.4日	5.9回

治療効果(施設別)

施設	Hoffer		CS-10		FRT		TUG	
	開始時	終了時	開始時	終了時	開始時	終了時	開始時	終了時
病院 (入院)	1.3	1.0	2.1回	2.8回	20.52cm	28.67cm	20.28秒	18.77秒
病院 (外来)	1.0	1.0	3.1回	3.9回	23.38cm	28.84cm	10.3秒	10.7秒
福寿荘	2.2	2.0	1.7回	1.7回	未実施	未実施	20.8秒	24.6秒
通所リハ	1.0	1.0	5.0回	5.0回	12.83cm	16.33cm	13.1秒	13.0秒
平均	1.3	1.3	2.6回	3.4回	20.75cm	26.12cm	17.20秒	15.40秒

※改善が見られた項目を赤字で表記

使用実績（目標別）

目標	合計人数	内訳 病院/福寿/通所	平均年齢	平均実施期間	平均実施回数
座位安定	4人	1/3/0	89.3歳	19.3日	3.0回
起立安定	11人	10/1/0	75.6歳	43.8日	7.6回
立位歩行安定	19人	15/1/3	79.4歳	27.9日	7.0回
合計/平均	33人	25/5/3	79.2歳	35.4日	5.9回

※使用回数1回で終了したケースなど目標未設定のため施設別集計と人数に違いあり.

治療効果（目標別）

目標	Hoffer		CS-10		FRT		TUG	
	開始時	終了時	開始時	終了時	開始時	終了時	開始時	終了時
座位安定	2.7	2.3						
起立安定			1.4回	2.1回	19.69cm	30.77cm		
立位歩行安定			3.4回	4.7回	19.59cm	22.64cm	15.22秒	12.23秒

※各目標の評価項目の結果のみ記載。改善が見られた項目を赤字で表記

まとめ

- 実施した症例について、目標別に結果を見ると一定の治療効果を得ることができた。
- 新しい運用方法になり法人内で統一した評価用紙を使用することで目標別に治療効果の判定が行えるようになった。
- 当初設定した実施回数よりも下回る平均実施回数であった。施設ごとの実施状況を踏まえて改めて評価期間の実施回数の見直しが必要。
- 実施にHALを使用していても未評価や評価用紙の記入漏れも散見され、職員への再度周知徹底をしていく必要がある。